

## 輸出産業近代化計画 (IFCTローン)(2)(3)



本事業にて融資を受けた缶詰工場

## [ 借 款 概 要 ]

承諾額/実行額	7,500百万円 / 7,454百万円
借 款 契 約 調 印	1987年9月 / 1990年2月
借 款 契 約 条 件	金利2.7 / 3.0%、返済25 / 30年(据置7 / 10年)
貸付完了	1992年9月 / 1995年6月

## [ 事 業 概 要 ]

タイ産業金融公社(IFCT)を通じ、輸出指向型中小企業に低利かつ長期の融資を行い、中小企業の育成および国際競争力強化を図るもの。

## [ 評 価 結 果 ]

本事業は1985年に供与した第1期借款(40億円)に続くものであり、IFCTを通じて計132件のサブローン(第2期1988-92年、第3期1990-94年)が中小企業向けに融資された。

借入れ企業の業種別内訳は、食品加工(30%)、木工・家具(14%)、プラスチック製品製造(12%)、ゴム加工(9%)の順になっており、地域的には輸出指向型企业が集中するバンコク圏(44%)、東部(16%)、中央部(14%)で約7割を占め、融資額の9割以上は、新規設備投資に充当された。

借入れ企業の約1割を対象としたサンプル調査によれば、生産量・売上高は平均で約3.5倍、雇用も約1.6倍に増加したとされ、IFCTを通じたツーステップローンが、90年代前半を通じて、タイの中小企業の発展に寄与したことが窺える。

なお、これまでにサブローンの殆どが完済されており、2001年6月には、円借款の残高についても繰上返済が行われた。